

# 駒ヶ根民報

No.1351

2015.12.20

日本共産党

駒ヶ根市委員会

TEL 83-2969

今号は、12月議会を中心に両面掲載です。

## ・竹村ほまれ議員の一般質問(4項目一面に)

- ① 廃棄物最終処分場建設計画への対応は。
  - ② 再生エネルギー業者参加による基本スタンスは。
  - ③ 中沢小学校南側市道の整備を。
  - ④ 特別支援が必要な子ども達増加への対応は。
- ・陳情審査状況。市長への公開質問状を掲載(裏面に)

### ① 放射性物質等を埋め立てる計画への見解は

**質問** 大田切河畔の地下水が行き来する立地場所に放射性物質やダイオキシンを埋め立てる廃棄物最終処分場の建設計画が持ち上がっている。施設から半径1キロ以内には、東伊那区、下平区、町4区が隣接し、下流には中沢区、上赤須区が水資源の恩恵を受けて暮らしている。建設などもこの外の計画だが、市長の見解は。

### 当市の発展に大きな影響

**市長** 将来にわたって生活や産業を脅かすことにもなり、駒ヶ根市の発展にも大きな影響が考えられる。地域住民の生活環境の保全上の支障を未然に防止するためにも、強い意志を持って対処して頂く。



### 県に認可を認めさせない考えは

**質問** 駒ヶ根水と命を守る会と協同して近隣自治体とも連携を取り、県に対して認可を認めない申し入れや運動を行っている。計画を阻止し、県に対して認可をさせない考えは。

### 市民の願いを知事に訴える

**市長** 宮田村はもとより天竜川の下流域に及ぼす影響を考えると関係する団体も広く連携をして取り組んでいく必要がある。皆さんの思いを県知事に対してしっかりと訴えて頂く。

### ② 駒カンに計画中の太陽光発電所計画は

#### 太陽光発電所計画は

**質問** 駒ヶ根カントリークラブに計画されている33メガワットにおよぶ大規模な太陽光発電事業について、課題は山積と感ずるが、この件に関する市のスタンス、住環境への影響含む見解は

#### 地域に必要な支援をしていく

**市長** 地元の方々の理解が得られる計画となるように、事業者に対して伝えており、今後市はその推移をみつつ対応をしてまいります。もし計画が進むものなら協定の締結等も地元と共に検討してまいります。

### 新宮川発電所建設計画

**質問** 新宮川発電所建設計画については豊富な故郷の水の流れを活かして復活が期待されていたが、この程具体的な建設計画が事業者から出され、既に地元説明会も行われているが、この間の経過から、この事業に対する見解と展望は。

### 信頼できる事業と期待する

**建設部長** 三峰川電力(株)において落合橋下から取水し、1キロ下流に約1900メートルの発電を計画しています。環境影響評価の実施や、取水にも計画変更等対応も行うしており、信頼出来ると期待する。事業者と地域共に笑顔になれるよう進めていく。

### ガイドライン作成による

#### 明確な取り決めを

**質問** 再生可能エネルギー発電への転用が急速に図られる社会情勢の中で、設置者との間に合意形成が不十分な状態で、トラブルが生じる事例が多発している。当市は市内で計画されている、再生エネルギー計画に対して何を基準に、どの様なスタンスで臨んでいくのか?ガイドライン作成による明確な取り決めにも関係して、答弁を求めます。

#### 留意すべきガイドラインとして年度内に示す

**市長** 周辺住民ときちんと対話が出来、事業の継続や事業終了後の対応ができる事業者を選択することがポイント。太陽光発電設置の際の地元説明会の手引を、一つの基準として留意すべきガイドラインとして利用できる様、内容等審議の上、年度内には、示していきたい。

### ③ 中沢小学校

#### 南側市道の整備を

**質問** 駒ヶ根市の実施計画の理念に基づいた市道舗装整備として、幅員が狭く児童等歩行者や車両にも危険な竜東の拠点でもある中沢小学校南側の市道整備を図って頂きたい。

### 3か年実施計画に位置付け

**市長** 道路利用者も多く、地域の重要な路線と認識をしております。来年度地元関係者と協議をしながら、整備方針を確定し、設計に入りたい。



### ④ 特別支援が必要な子どもたちへの対応は

#### 就労支援は

養護学校卒業後の就労や生活の場を、当市で安心して生活させられるように願う声が聞かれる。市内での新たな施設誘致の進捗状況や内容、展望について。また、卒業後の市内で進路を相談支援する体制についてこの様になつていくのか。

### 市内に新施設の計画

**市長** 当市で、生活介護や就労支援B型施設を新たに建設する動きも出てきている。具体的には、社会福祉法人アンサンブルから駒ヶ根市内の候補地に新施設を開きたいとの打診。

また菓子工房を中心とした福祉就労の場というプランの説明を受けました。計画では当初の定員は25名、平成30年4月開設を予定。当市としても計画への支援と連携を前向きに検討してまいります。

※裏面に続き。陳情質問状等→

### 12月議会の請願・陳情審査

審査分のみ掲載)

☆は採択 ◇趣旨採択 ●継続 ◆は不採択

請願 建設産業委員会付託)

☆豊かで優れた自然環境や水資源を将来に回す守ることを求める意見書の採択を求める請願書

請願者:駒ヶ根水と命を守る会  
全会一致で採択 意見書提出

陳情 総務委員会付託分)

●人種差別を扇動するインターネットサイトを禁止し処罰する法律の制定を求める要望書  
陳情者:在日本大韓国民団  
継続審議 採択1名、継続審議8名

※坂本裕彦委員は、採択に賛成

◆戦争法の強行採決に抗議し法の廃止を求める陳情

陳情者:上伊那地区労働組合会議

◆沖縄の米軍辺野古新基地建設の即刻中止と県民に寄り添う計画見直しを求める陳情  
陳情者:平和となんだ伊那谷  
以上託陳情2件

不採択 採択1名、不採択8名  
※坂本裕彦委員は、採択に賛成

陳情 建設産業委員会付託分)

☆建設業に関する要望書  
陳情者:駒ヶ根建設業組合  
全会一致で採択

◆労働基準法改定案の撤回を求める陳情  
陳情者:上伊那地区労働組合会議  
不採択 採択1名、不採択8名

※竹村善委員は、採択に賛成

◆TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める陳情  
陳情者:上伊那地区労働組合会議  
不採択 採択1名、不採択8名

※竹村善委員は、採択に賛成

☆TPP大筋合意に関する陳情書  
陳情者:上伊那農業協同組合  
全会一致で採択 意見書提出

☆豊かで優れた自然環境や水資源を将来に回す守ることを求める意見書の採択を求める陳情書

陳情者:宮田の環境を守る会  
全会一致でみなし採択

◆TPP交渉に関する陳情  
陳情者:上伊那農民組合  
不採択 採択1名、不採択8名

※竹村善委員は、採択に賛成

陳情 教育民生委員会付託分)

◇介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情  
陳情者:長野県医療労働組合連合会  
趣旨採択 採択2名、主旨採択7名  
趣旨採択は意見書は提出されませんが、趣旨採択は意見書は提出されません

※竹村善委員は、採択に賛成

### 陳情の半分が不採択に!

不採択とされた今回の陳情は、どれも社会通念上も道義的にも妥当性があるもので、意見書を上げていくべきものであると、私たち共産党会派は全てのものに賛成の立場をとりました。

議会は、市民や団体の意見を出来うる限り政治に反映させていくのが役目であり、そこには陳情された意図が止じけられ、提出された陳情者の好き嫌いに左右されず、また言葉尻を捉えて否決するのでなく、陳情請願者の願いを、適切な表現に変えても、議会として取り上げる活かしようがあるものと、す。

### 駒ヶ根市議会の異常な体質

駒ヶ根市議会の、共産党を除く、他会派の、議会の度に繰り返される、このような悪しき習慣は、他の自治体と比較しても極めて異常な体質です。



駒ヶ根みんなの会が  
杉本市長に質問状を提出(全文)

駒ヶ根市長 杉本幸治殿

市長選挙に関わる公開質問状

2015年12月7日

市民のくらしを守る

駒ヶ根みんなの会 代表 林奉文

日ごろの市民のいのちとくらしを守る任務にご尽力されていることに敬意を表します。来年の1月17日告示で、駒ヶ根市長選挙が執行されます。貴殿はすでに立候補を表明

されており、駒ヶ根市の将来に如何なる政治姿勢で選挙に臨まれるのかについて、以下の内容について公開質問状として提出させていただきますので、お答えいただけますようお願い申し上げます。

なお回答は「市民のくらしを守る駒ヶ根みんなの会」として市長選挙に臨むうえで大いに参考にさせていただきますとともに、市民のみなさんに、様々な形で公開することを前提にお伺いします。

1、安倍内閣は「集団的自衛権」行使を閣議決定しそれに基づいた「安保関連法」を国民の大多数と憲法学者の多くの反対を無視して、強行採決しました。

「集団的自衛権」とは、言うまでもなくアメリカの要請によって日本の自衛隊が海外で武力行使を行うことです。

歴代の自民党内閣や内閣法制局も「憲法違反」として容認してきませんでした。

憲法解釈を一内閣の専断で覆すことは、立憲主義を破壊する暴挙と言わざるをえません。

日本国憲法第99条は「憲法尊重擁護の義務」として「国務大臣・国会議員・その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う」と明記されています。

集団的自衛権行使を可能にする「安保関連法」についての見解をお伺いします。

2、「大筋合意」に達したTPP(環太平洋連携協定)交渉で、政府は重要5項目(米・麦・牛肉・豚肉・乳製品・甘味資源)についても大幅譲歩し、国会決議をも無視してしまいました。

今回の合意でアメリカやオーストラリアの新たなコメの輸入枠が設定され、さらに米価が下落すれば、日本の農業は崩壊しかねません。TPPについての見解をお伺いします。

3、高齢化が急速に進行する中で、医療・介護にかかわる法律が「改悪」され、利用者も施設も今までのような施策の利用や存続が危ぶまれています。

また、少子化の進行は集落や地域の衰退を招きます。

安心して、産み育てられ、高齢者も心安らかに暮らせるために、子ども医療費無料化を高校卒業までの拡充、保育料・給食費無料化をめざし、当面保育料の第2子半額、第3子無料などの思い切った施策の実現、国保税・介護保険料の軽減などの福祉・医療施策を市政の最重要課題への位置づけについての見解をお伺いします。

以上3項目について、12月14日までに文書にてご回答下さるようお願いいたします。



### 駒ヶ根市民報発行募金にご協力ください

例年読者 支持者の皆さんにご協力いただいています。駒ヶ根民報「発行募金」を今年もお願致します。募金袋に新聞集金時等にお渡し頂ければ幸いです。